

sVMS2000

スマートフェイス管理クライアント

マニュアル (for Windows XP/2003/Win7/Win 8/Win10)

修正記録:

更新日	版本	説明
2020-02-13	V1.0.0.1	
2021-01-06	AONE_V1.1	Ver3.0.1.8に対応
2021-01-08	AONE_V1.2	文修正

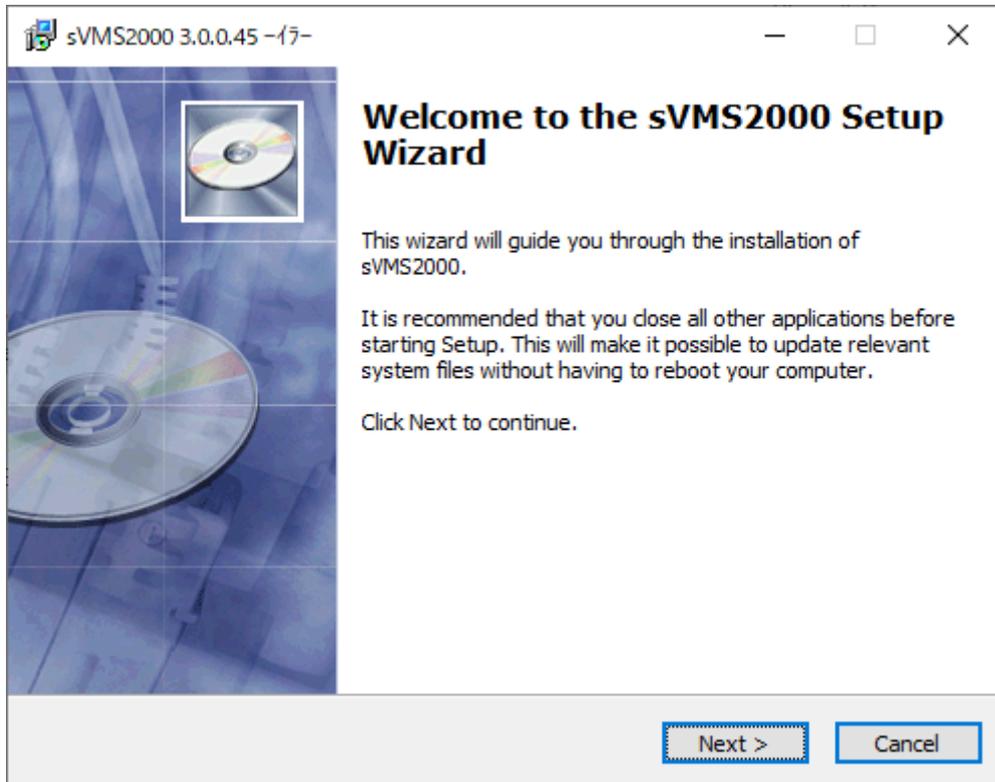
目録

ソフトウェアのインストールと使用.....	4
1、ソフトウェアのインストール.....	4
2、システムログイン.....	6
3、メインページ.....	7
4、【デバイス管理】.....	8
5、【デバイス設定】.....	10
6、【プレビュー】リアルタイム表示.....	11
7、【設定】システム設定.....	12
8、【統計】ログデータの確認、保存.....	13

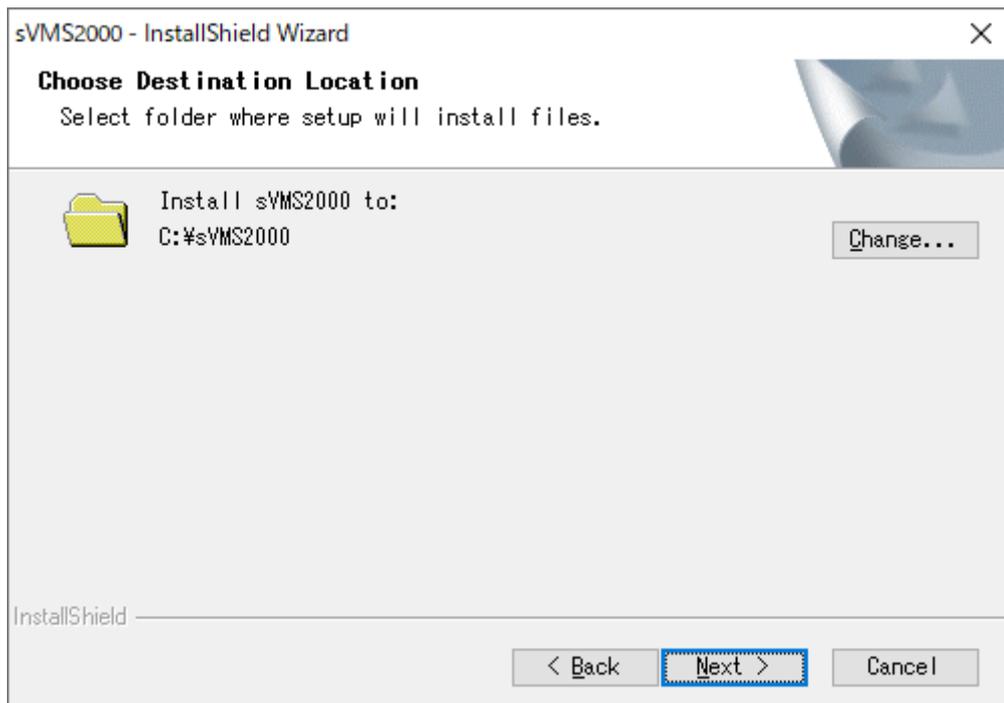
ソフトウェアのインストールと使用

1、ソフトウェアのインストール

setup.exeインストーラーをダブルクリックして、インストールウィザードを開始します。

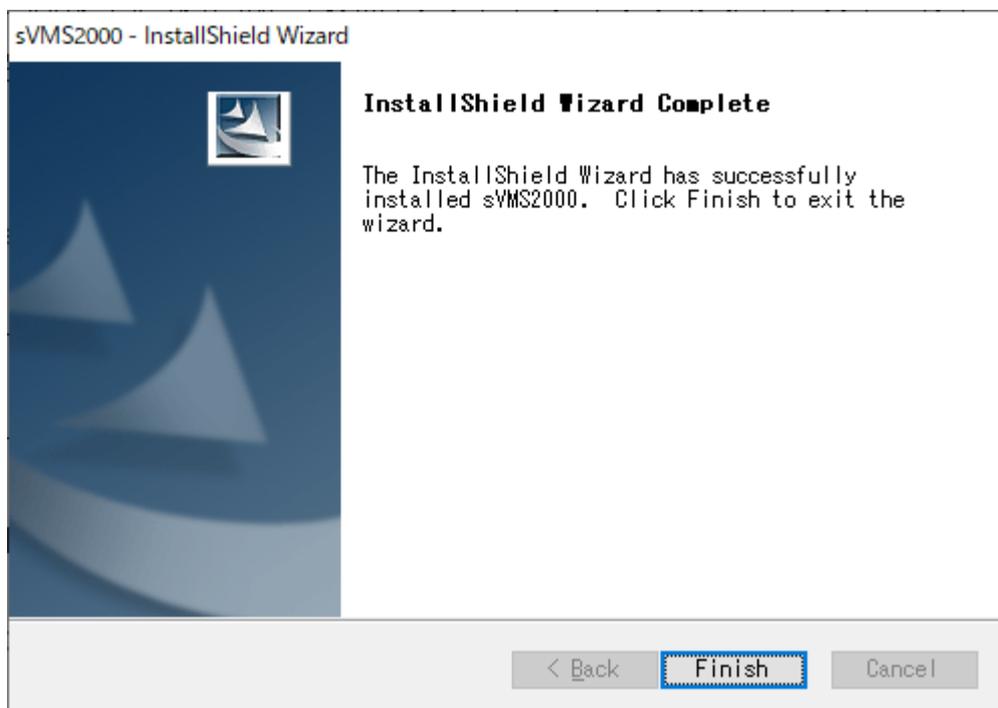


「次へ」ボタンをクリックして次のステップに進みます；



プログラムはデフォルトでシステムディスクのc:\¥sVMS2000フォルダーにインストールされます。

「Install」をクリックしてインストールを進めます。
最後に「Finish」をクリックしてインストールを完了します。



2、システムログイン

ソフトを立ち上げると下記の画面が出てきますので、何も記入せず一番下の [Login] ボタンをクリックしてログインしてください。

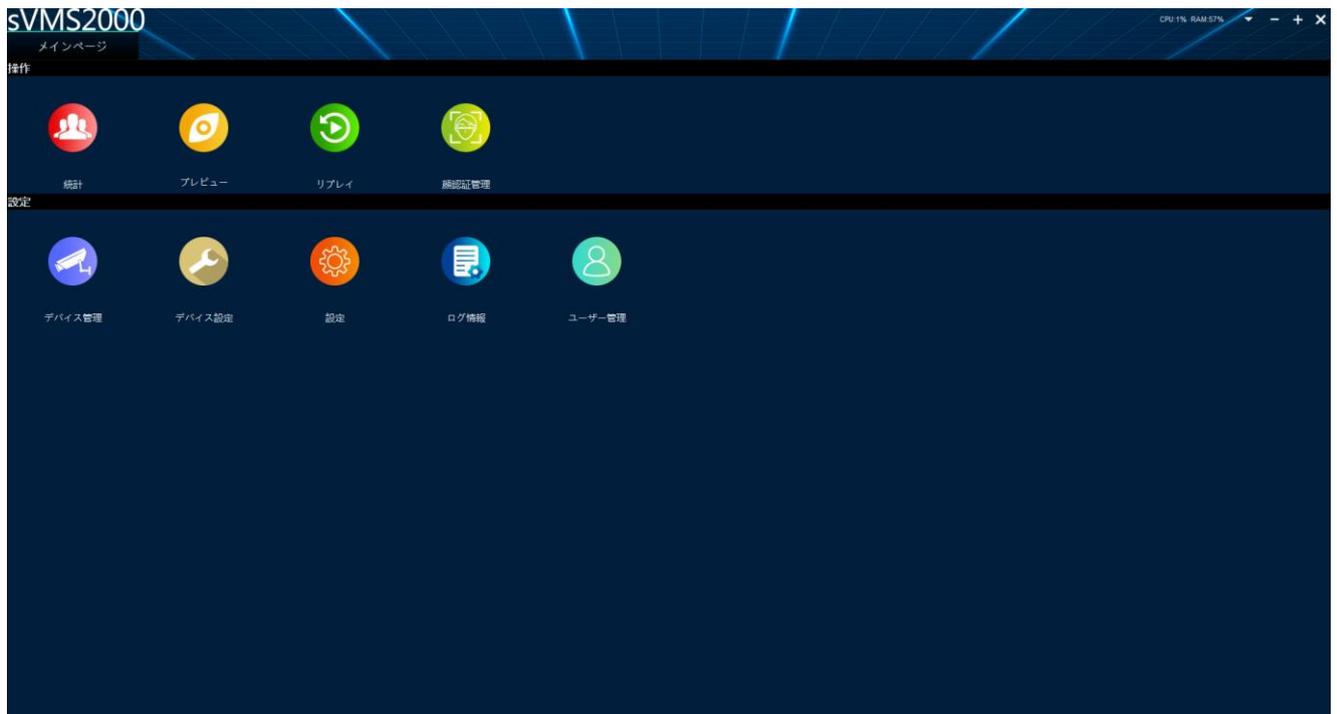


The screenshot shows the login interface for sVMS2000. The title 'sVMS2000' is prominently displayed at the top. Below it, there are four input fields: a username field with 'admin' entered, a password field with a lock icon and six dots, a language dropdown menu set to '日本語', and two checkboxes: 'パスワードを記憶する' (checked) and '自動ログイン' (unchecked). At the bottom, there are two buttons: 'ログイン' and '詳細'.

注：初期ユーザーは特権管理者です：管理者ログインパスワード：123456

ログイン後、ユーザーは「ユーザー管理」インターフェースでクライアント管理権限を設定できます。

3、メインページ



ログインパスワードが成功すると、ソフトウェアのメインページが表示されます。
ソフトウェアは、図に示すように各機能に分かれています。

『操作』

- 【統計】 — 訪問者のスナップ写真、名前、番号、温度等を表示、Excel形式の出力をします。
- 【プレビュー】 (カメラプレビュー) --リアルタイム画像を表示します。
- 【リプレイ】 -- 本機では使用できません。
- 【顔認証管理】 -- 顔認証モードでの顔の一括登録、登録者の管理を行います。

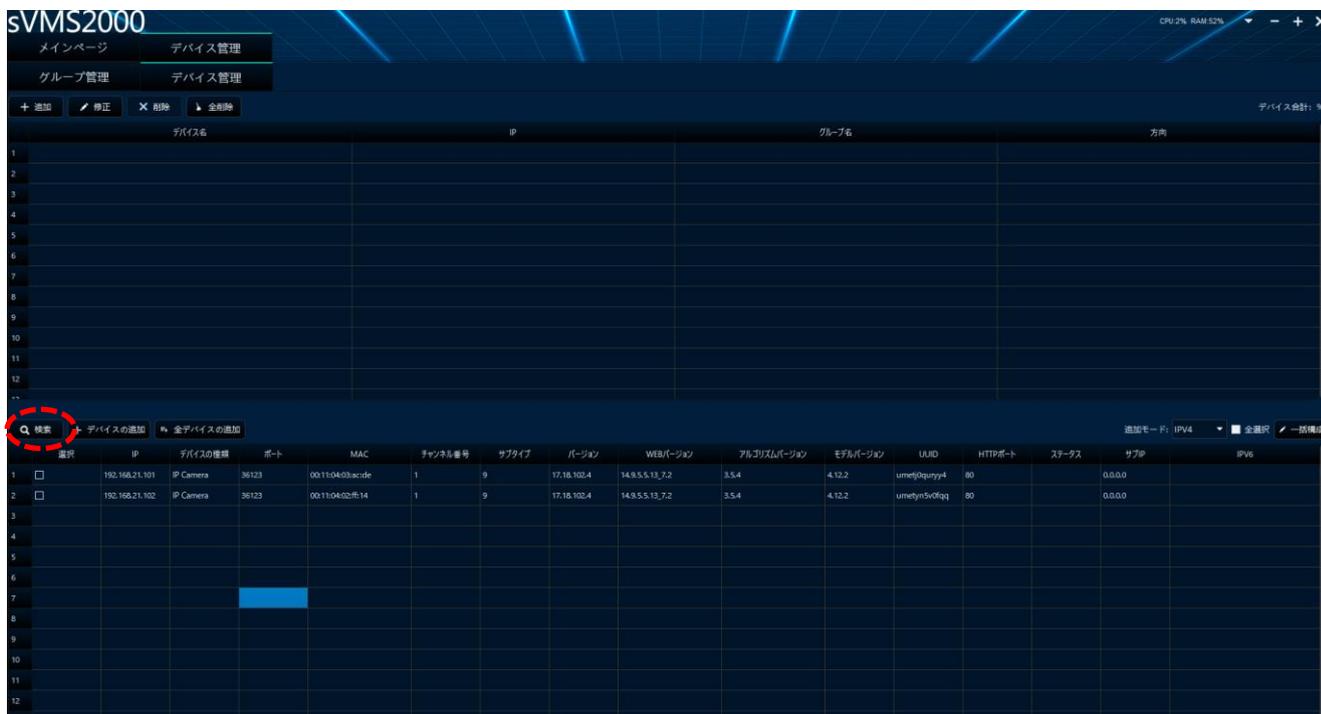
『設定』

- 【デバイス管理】 -- 管理するサーマルカメラの登録を行います。
- 【デバイス設定】 -- サーマルカメラの設定情報を確認できます。
但し設定はWeb画面で行って下さい。
- 【設定】 -- 本ソフトウェアのシステム設定を行います。
([ログ情報] [ユーザー管理]は使用しません。)

まず、最初に「デバイス管理」をクリックしてサーマルカメラを追加する必要があります。

4、【デバイス管理】

【デバイス管理】をクリックすると、図のようにデバイス管理画面に入ります。



LAN内のサーマルカメラを自動で検索し表示されます。
真ん中左の「検索」(赤丸)をクリックすると手動で検索します。

※デバイスが出てこない場合は、接続されていないかIPアドレス設定が間違っていますので、再度確認をお願いいたします。

デバイスが表記されているのを確認の上、表記されているすべてのデバイスを追加する場合は「全デバイスの追加」をクリックしてください。

登録するデバイスを選択する場合は、左の白のチェックボックスにチェックを入れて「+デバイスの追加」をクリックしてください。

デバイスの追加をクリックすると

デバイス情報

ユーザー名: admin

パスワード: ●●●●●●

通行方向: 入口

グループ名: Default Group

OK

上記の画面になりますので、「OK」をクリックしてDeviceを追加します。

svMS2000

メインページ デバイス管理

グループ管理 デバイス管理

+ 追加 修正 削除 全削除

デバイス名 IP グループ名 方向

192.168.21.101	192.168.21.101	Default Group	入口
192.168.21.102	192.168.21.102	Default Group	入口
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

検索 + デバイスの追加 全デバイスの追加

選択	IP	デバイスの種類	ポート	MAC	チャンネル番号	サブタイプ	バージョン	WEBバージョン	ファームウェアバージョン	モデルバージョン	UUID	HTTPポート	ステータス	サブIP	IPv6
<input type="checkbox"/>	192.168.21.101	IP Camera	36123	00:11:04:03:ac:de	1	9	17.18.102.4	14.9.5.5.13.7.2	3.5.4	4.12.2	umetj0qzryy4	80		0.0.0.0	
<input type="checkbox"/>	192.168.21.102	IP Camera	36123	00:11:04:02:ac:14	1	9	17.18.102.4	14.9.5.5.13.7.2	3.5.4	4.12.2	umetyn5vdfqg	80		0.0.0.0	

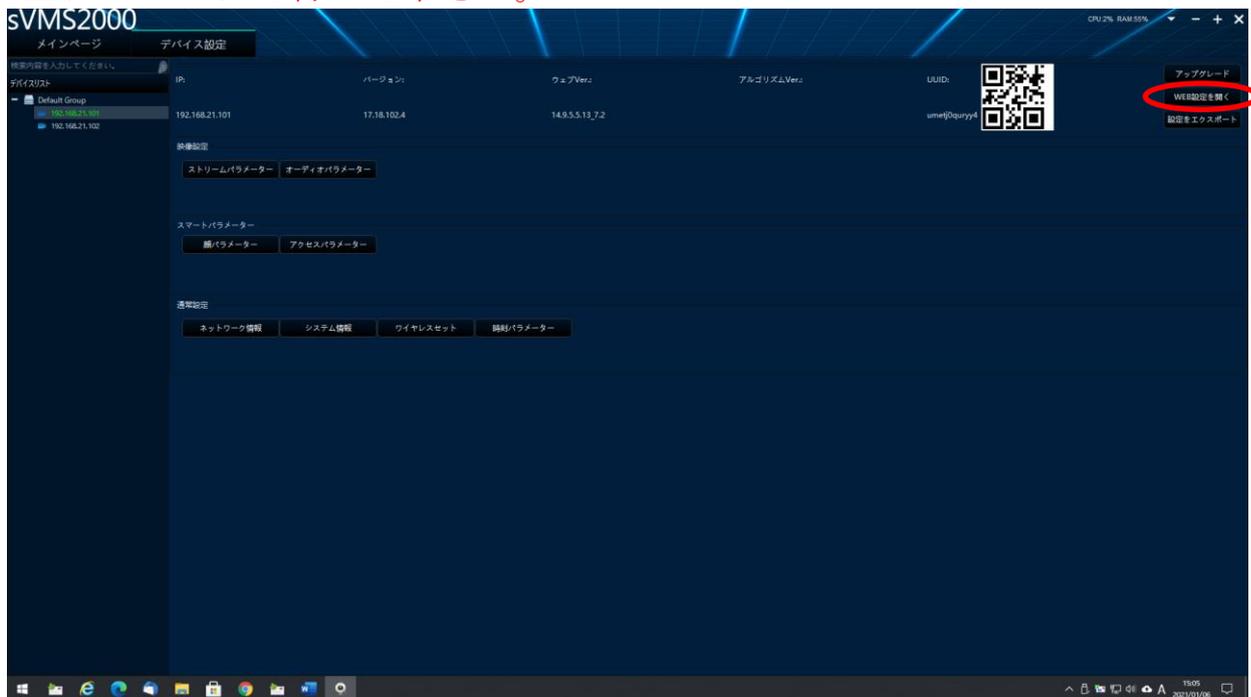
登録されましたら上の段に登録されたデバイスが表示されます。（赤枠）

5、【デバイス設定】

図に示すように、メインページに戻り、「デバイス設定」をクリックします。

確認したいDeviceを左のツリーから選択し、接続されているDeviceの確認ができます。

サーマルカメラの設定は「WEB設定を開く」をクリックしてWEBメニューにて行って下さい。

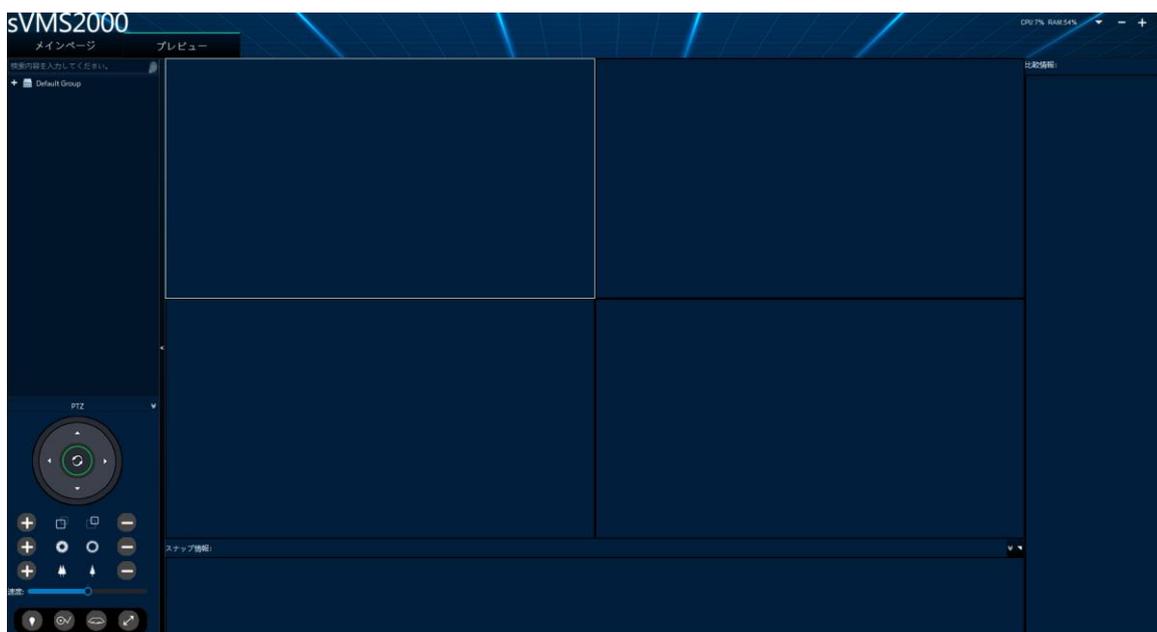


注意：このsVMS2000からも設定変更を行うことが出来ますが、予期せぬ設定が入力されたり、うまく設定値が反映されないことがあります。

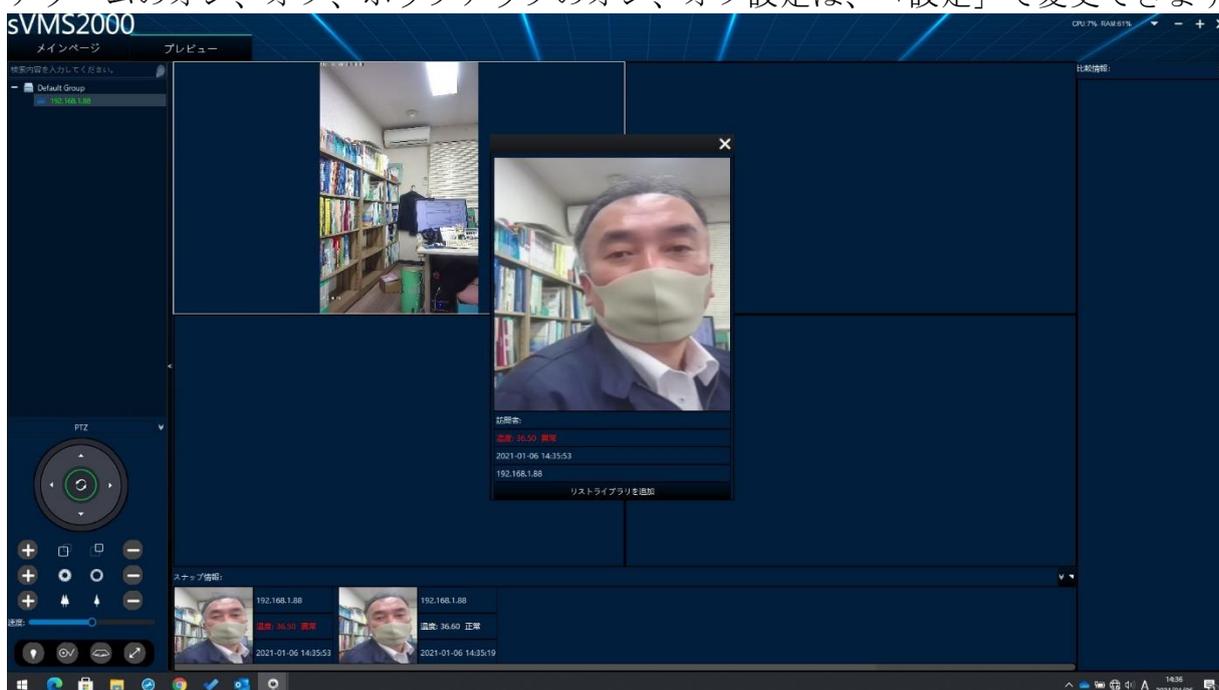
6、【プレビュー】リアルタイム表示

「プレビュー」をクリックすると、図のようなインターフェースが表示されます。左側のツリーの下にあるデバイスをダブルクリックし、対応するIPアドレスを選択（ダブルクリック）して左上のビューボックスに追加して表示します。

画面には現在のリアルタイムの映像が表示されます。



しきい値以上の温度が検出された場合、ポップアップウィンドウにて表示されます。この時、数秒間アラーム音がPCから鳴ります。 ※アラーム音の長さの変更はできません。アラームのオン、オフ、ポップアップのオン、オフ設定は、「設定」で変更できます。

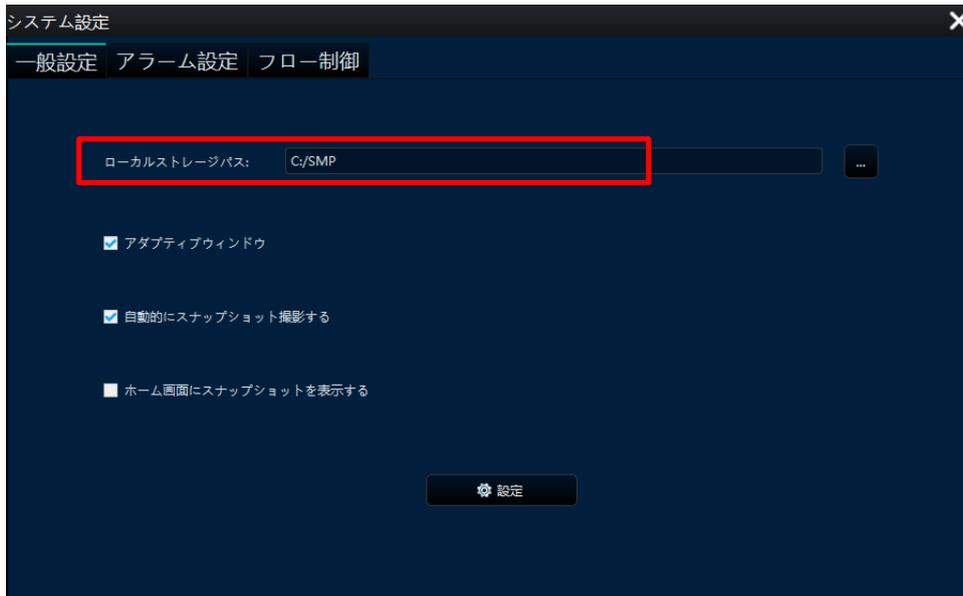


7、【設定】システム設定

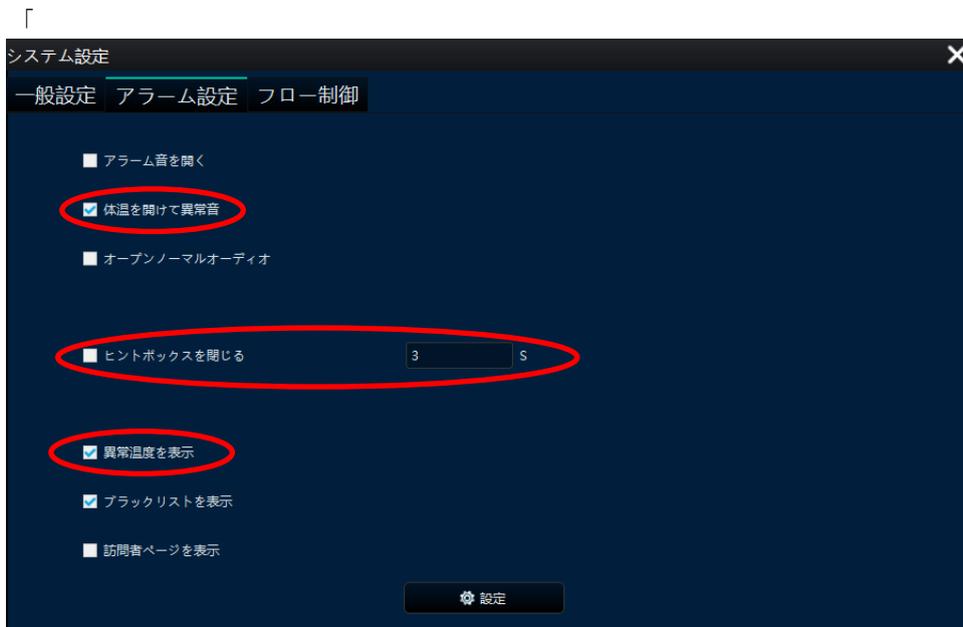
図のようにPCに保存されるスナップショット写真の保存先を設定できます。

初期設定はC:\\$SMPに保存されます。

変更後は、下部にある「設定」をクリックして設定保存をしてください。



パソコン上の温度異常時のアラーム、スナップショットの設定は「アラーム設定」タブの以下の赤枠のチェックボックスをOFFにすることで変更できます。



「体温を開けて異常音」のチェックを外す→アラーム音をOFFにする

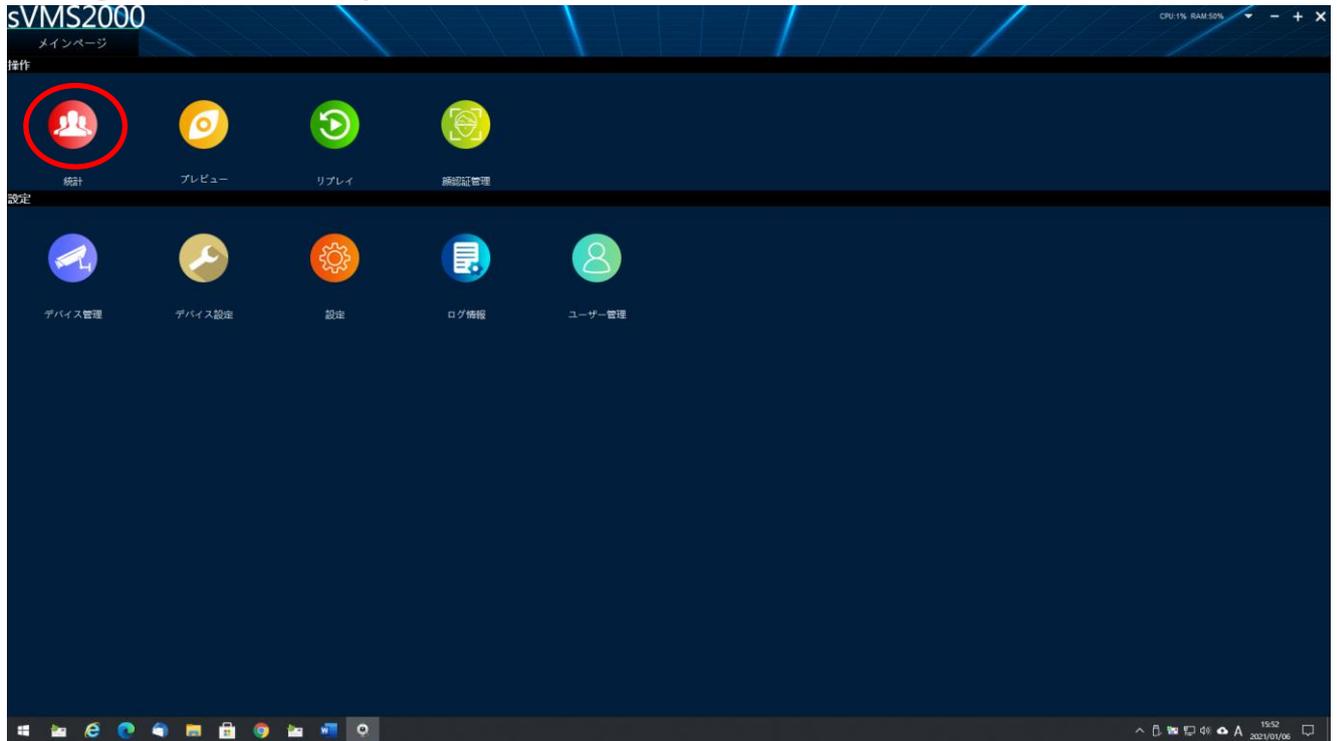
「ヒントボックスを閉じる」→スナップショット写真の表示時間を設定できます。

「異常温度を表示」をチェックを外す→ポップアップ スナップショットのOFFにする。

最後に下部の「設定」をクリックして設定完了してください。

8、【統計】ログデータの確認、保存

「統計」をクリックします。

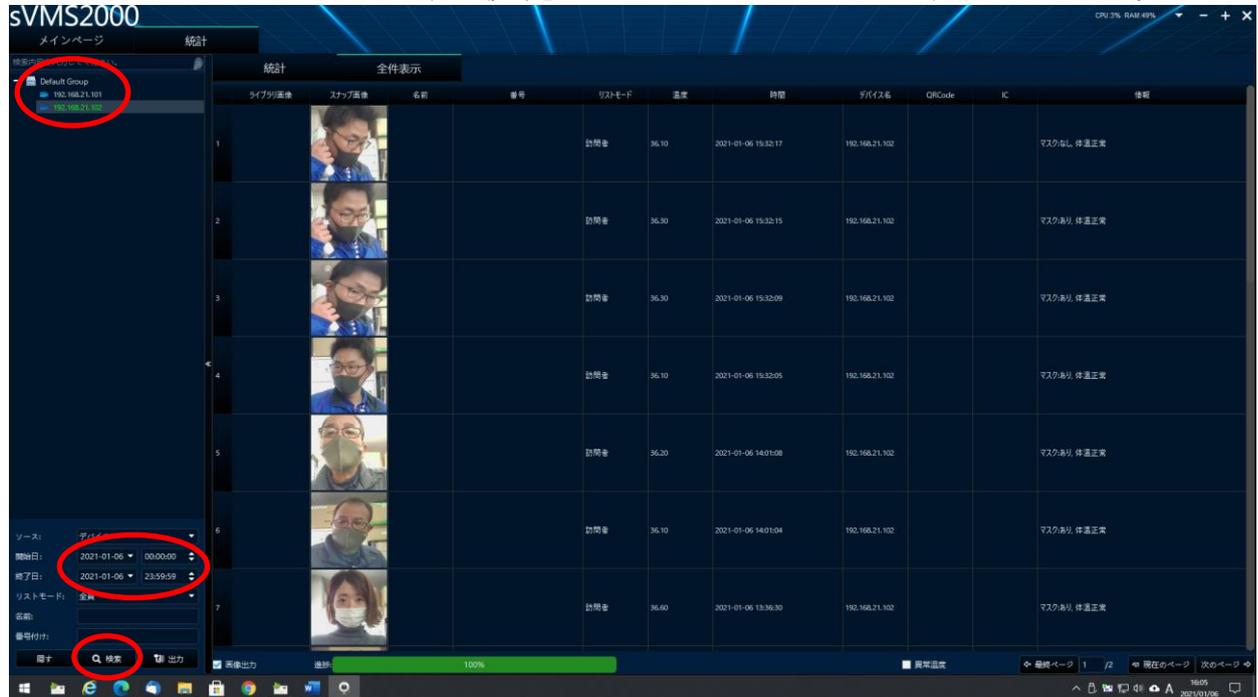


次に「全体表示」タブをクリックします。



左側ツリーの「Default Group」をダブルクリックして展開された該当のデバイスのIPアドレスをクリックし選択します。

次に読み出したい日時を設定し、「検索」をクリックしてレコードを取得してください。



※日付指定で範囲を広げるとデータが多くなり、Serch時間が長くなります。

※温度異常のみ表示させたい場合、右下のAbnormal temperatureのチェックボックスにチェックを入れると温度異常のリストのみに変わります。

ログデータをExcelデータに保存する場合は、右の「出力」をクリックするとデータをPCに保存できます。

